

愛道

あいどう



トピックス

足羽福祉会 創立50周年特集
平成28年10大ニュース

【取組レポート】 足羽東こども園・あすわ就労支援センター・愛全園

新年のごあいさつ



～創立50周年の年に臨んで～



足羽福祉会 理事長 高村 昌裕

新年明けまして

おめでとうございます。

昨年は社会福祉法が改正され、私たち社会福祉法人の使命として、従来から求められている「社会福祉事業の主たる担い手としての責務（自主的な経営基盤強化、サービスの質向上、事業経営の透明性の確保）」に加え「地域への公益的な取り組み（日常生活が困難な方への無料又は低額なサービス提供等）」が義務付けられるようになりました。

以前ならば「社会福祉」とは対象者が限定された福祉であるのに対し、「地域福祉」は広く一般の方への福祉として別個に捉えられていました。しかし現在は誰もが社会福祉の対象となり、誰もが地域社会の一員として捉えられる時代が変わっています。ですから、私たち社会

福祉法人が地域のさまざまな課題にもっと積極的に取り組むことは必然とも感じています。

足羽福祉会では以前よりさまざまな地域福祉活動を展開してきましたが、PR不足もありましたので、今回ホームページの刷新と共に、皆様にもわかりやすくお伝えします。またこれからも地域の皆様のさまざまな困りごとにも応えていけるよう努めてまいります。

さて、今年いよいよ足羽福祉会は創立50周年を迎えます。昭和42年10月1日に、当時の財団法人北陸陽気園から名称を財団法人足羽学園とし、新たな経営体のもと社会福祉法人化をめざし始めました。

50年の道のりに思いをはせると、さまざまな人の生き様が浮かんできます。当時足

羽学園に入所された障がいのあるお子さんと、現在もグループホームや入所施設、又は老人施設で元気に生活されておられる方がいます。足羽東保育園を卒園された園児は、今度は保護者になって園を利用くださり、支えてくれています。地域の方ですつとボランティアで運営を支えてくださった方もいます。

創立当初のことを知っている職員はほとんどいませんが、出会いや別れを乗り越えて、現在も現場で利用者の方に寄り添ってくれるベテラン職員は、各事業での精神的支柱となつていきます。50年は本当にたくさんの方々の利用の方やご家族、地域の方々、そして職員の人生が縦横に織り成された絵巻物のようです。

「赤ちゃんからお年寄りまでが障がいの有無にかかわらず、その人らしく安心して暮らせる共生社会の実現」

という山の頂をめざして、私たちは今何合目にいるのでしょうか？これまでバトンを引き継ぎながら歩んできた足跡を振り返ると同時に、今後どのように山を登っていくのかを話し合い、思いを共有する機会として、創立50周年記念事業を行いたく、毎月、同事業の検討準備委員会の内容を協議しています。キヤッチフレーズは「感謝を胸に『共に生きる』これからも」。具体的内容は本誌でも順次お知らせしていきます。

足羽福祉会を支えてくださった多くの方々の思いを受け止め直し、未来への一歩につなげる1年となるよう、本年も役員一同、力を合わせて取り組んでまいります。何卒皆様のご支援、ご協力のほどお願いいたします。

足羽福祉会 創立50周年記念事業 ロゴマーク決まる!

職員から寄せられた39点の図案の中から、
右のマークに決定しました。



考案者

足羽更生園 井上ゆかり

ロゴマークに込めた思い

人と人がつながりあえるように、利用者の方、職員、みんなが
幸せであるようにとの意味を込めて四つ葉のクローバーを入れました。
よく見るとハートマークになっています。

キャッチフレーズ

感謝を胸に「共に生きる」これからも

私たちの先輩方が、赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる社会の実現を目指して、切り開いてきた50年。
そこには共に生き、共に集った利用者の方や職員、そして地域の方々の間での笑いと涙、挑戦と感動がたくさん詰まっています。
こうした軌跡を感謝の思いで振り返り、これから進むべき未来を語り合っ、新たな一歩を踏み出したい。
私たちは「共に生きる」を真ん中にすえて行動する社会福祉法人です。



目次 もくじ

- 2 新年のごあいさつ
- 3 創立50周年記念事業 ロゴマーク決まる!
- 4 足羽福祉会 創立50周年特集
- 6 生きる力を育むために … 足羽東こども園
- 8 今日も元気にいってらっしゃい! … あすわ就労支援センター
- 10 ホッとひと息する1日を 喫茶『あいあい』 … 愛全園
- 12 平成28年10大ニュース
～足羽福祉会よもやま新聞～
- 14 法人からのお知らせ
- 16 愛のささえ



「表紙について」

明るい笑顔が良く似合う、とっても
仲の良いご夫妻です。お二人の笑
顔は、周りの人まで明るくしてくれ
ます。いつまでもお元気で、長生き
してくださいね。

(グループホーム美山 川端)



足羽福祉社会

50

年の歩み「黎明期〜現在まで」

- 平成8年 ● 愛全園増改築
- 平成10年 ● 足羽更生園増改築(①)



平成12年 ● 足羽学園・足羽更生園改築

平成16年 ● そよかぜ開設

平成18年 ● ほほえみ開設

平成19年 ● 職員研修センター開設(②)

● 羽生の郷開所

● 足羽サポートセンター設置

● ひまわりの家開設

● たんぼぼ開設

● さつき開設(③)



平成22年 ● 足羽利生苑増改築(④)

● 足羽東保育園増築(⑤)

● フレンスみゆき設置

● さくら開設



愛道65号
(平成9年9月1日)



愛道78号
(平成14年1月1日)



愛道100号
(平成21年9月1日)

歴代編集委員「愛道」を語る

愛道33号「昭和61年10月」編集



足羽更生園
こうせん けんじゅん
光仙 賢淳さん

変でしたが楽しい時間でもありました。特に、自分が手がけた原稿やデザインが採用されたときは、とてもうれしく思ったことをよく覚えていきます。

この仕事を通して、福祉の仕事の大切さや外部に伝えていくことの大切さを知る機会となり、とても貴重な経験をさせていただいたと今でも感じています。

昭和61年度入職、最初についていた仕事が「愛道」の編集委員でした。当時、福祉の知識はまだまだ浅かった私が先輩職員と一緒に委員会の場へ出かけ、他の職員と真剣に議論したり、和気あいあいと話し合ったりするなど、大

愛道81号「平成15年1月」編集



愛全園
ふじはら ゆきより
藤原 行順さん

穴があいているではないか：(綴じ穴は予め印刷業者があけていました)私は激高し担当業者に配慮がないと詰め

平成24年

- パステル設置(⑥)
- 愛全園新館開設(⑦)
- 法人内託児所「ひまわり」開設
- とうごう開設



平成25年

- 足羽川ふれあいマラソン開始
- スマイル開設
- フレンズあすわ開設(⑧)
- なごみ開設(⑨)



平成26年

- グループホーム美山開設(⑩)
- こもれび開設(⑪)
- ひだまり開設



平成27年

- 足羽東保育園が、認定こども園
- 足羽東こども園として再スタート
- 啓明児童クラブ開設
- はばたき開設
- 福井大東包括支援センター開設

平成28年

最優秀賞受賞(123・124号)



愛道120号 (平成27年7月1日)

最優秀賞受賞(110・111・112号)



愛道110号 (平成25年1月1日)

私が編集委員長として「愛道」に携わったところは、モノクロから2色刷り、内容も含め「みせる」誌面を意識し始めた時期でした。そんな中、第81号でのエピソードをひとつ。

表紙をかわいらしい0〜1才児の複数写真で構成。納品時、なんと園児の頭部に綴じ

寄ったことを覚えていません。(以降、綴じ穴は予めあけられず丸印だけになりました) 各号には利用者の方と職員「の思い」がいつぱい詰め込まれています。



愛道99号「平成21年5月」編集



足羽東こども園 もちだ さとよ 持田 里世さん

第99号の表紙で園児23名の顔写真を掲載。そのレイアウトは当時パソコンではできない作業だったので、写真を切り貼りして製作。顔の大きさを揃え、かつ表紙枠におさまるよう何度も切り貼りし直す作業が大変でした。

第101号で父親の育児についてインタビューを行い編集。その内容が家庭の内情もあり掲載の了承が得られるのか：保護者の方の思いをきちんとまとめられるのか：不安でした。

でもこの誌面づくりを通して、夫婦の調和が感謝の気持ちを育んだり、仕事のやりがいにつながったりしていることがわかり感動しました。

生きる力を 育むために

私たち保育教諭は、子どもたちの「生きる力」を育むことを願い、①感じる心(心情)②取り組もうとする気持ち(意欲)③実際に自分で物事にかかわろうとする体験(態度)を大切に、日々の環境を考えています。

今回は、子どもたちにより良い教育・保育を提供できるように、学んだ研修の中から3つの研修についての取り組みをご紹介します。



月2回、講師を招いてのダンス講習

運動遊び

幼児期は運動機能が急速に発達する時期です。動作の習得は10歳までが重要だということ学び、改めて私たちの責任を感じました。

実技研修では音楽に合わせて体を動かすリトミックやダンス、鉄棒や跳び箱などの運動遊びを学び、体操教室や日々の教育・保育に取り入れています。今年度は、研修で学んだ体操を、4歳児が運動会のマ스ゲームで生きいきと発表してくれました。

保育教諭と一緒に、運動や踊りなどを楽しみながら表現することで、憧れの気持ちを抱き、自主的に「やりたい」「どうやってやるの?」という気持ちを引き出すようにしています。また最後まであきらめず、挑戦しようとする気持ちと、できた達成感を味わえることを願いながら進めています。

自然観察

自然研修では実体験を通して心情が育まれることを学びました。その学びを生かし取り入れたのがダンゴムシの観察です。

まず、ダンゴムシはどんな所にいるのかを子どもたちと一緒に考えながら探しました。見つけたダンゴムシを観察していると「なんで丸くなるの?」「足がたくさんある」などの素朴な疑問や発見がありました。それらのことを自主的に調べられるよう図鑑を用意したり、保育教諭がヒントを与えたりし、より興味を深められるようにしました。



観察をしていく中で、子どもから「まっすぐしか歩けないの?」という疑問があがりました。そこで紙製の迷路を子どもたちと作成し、ダンゴムシを歩かせてみました。ダンゴムシが触覚を使い、迷路上を迷わずに歩く姿を見て、子どもたちは「なんで上手に進めるの?すごい」と興味津々でした。

他に、身近な昆虫の飼育、花や野菜の栽培を通し、生体の不思議さや面白さを感じることができるようになっています。また育てたのに死んでしまった、枯れてしまったなどの体験を通し、命の大切さを感じる心が育まれるようにしています。

わらべうた遊び



伝承されてきたわらべうたは童謡と違い、楽譜がありません。幼児期に一番適している音域で構成されているので、0歳児から5歳児まで教育・保育の中で大いに活用しています。小さい子には「いいないばあ」「や」「だるまさん」など、ふれ合いながら行うことで保育教諭との信頼関係が築けるようにしています。少し大きくなり、お話ができるようになる「もう一回」とせがんだり、他の子がしていると「自分もしたい」と伝えに来たりします。その都度、

子どもの成長に合わせて数人で رفتり、友だちと楽しさを共有できるようにしたりします。また「次、〇〇ちゃん」としうね」など順番を知らせています。

大きい子が楽しむわらべうた遊びの中には、縄跳びなどの身体、運動機能の発達につながるものもあります。ただ縄跳びを跳ぶだけよりも「ゆうびんやさん」など、歌に合わせた方が子どもたちもより楽しんで遊ぶことができます。

また研修では、子どもたちの力をつけるためには見守ることも大切ということも学びました。5歳児保育で取り入れた「あぶくたつた」は、子どもたち同士が協力しなければできない典型的な例です。初めは子どもたちだけでは難しいので、遊び方を伝えながら一緒に行い、徐々に自分たちだけで遊べるようにしていききました。途中で輪が切れると「手をしっかり



つなごう」「腕を伸ばそう」という声が広がり、子どもたちだけで大きな輪を作ることになりました。

わらべうた遊びでの成功体験は、思考力や協力し合う心、集中力など、さまざまな力を育みます。このように年齢毎のねらいや一人ひとりに合わせた配慮をし、全員が楽しめるように行っています。

平成27年度に受講した研修一覧

- ・公立保育園、認定こども園合同研修
 - ① 0～5歳の年齢別研修
 - ② リーダー的職員研修会
- ・実技専門講座
- ・福井県保育研究大会
- ・子どもの運動発達をふまえた教育
 - ① 運動会実技講習会
 - ② 運動遊び元気セミナー



保育について

- ・市町職員等児童虐待防止研修会
- ・幼稚園教諭免許取得及び更新講座
- ・幼保小接続講座(キレない子を育てる)
- ・障害児研修
- ・普通救命講習会

他22講座 延べ93名参加

今回、研修から学び取り組んだ3事例を紹介しました。研修で得られた感動やスキルを当園に持ち帰り、報告会を開いて、他の職員と共有しています。

今後も教育・保育の中に研修での学びを取り入れ、子どもたちが「生きる力」を育むことができよう、取り組んでいきます。



報告会での様子

今日も元気に いってらっしゃい!

「行ってきます、運転手さん」「はい、今日も元気にいってらっしゃい」と、毎朝交わされるあいさつがあります。

バスを利用される方々を無事故で安全に、そして楽しく送迎してくれる運転手の石塚さん。今回はそんな石塚さんにスポットをあて、送迎中のバス内の様子や石塚さんの気配りなどを紹介します。



家と活動先を つなぐ架け橋



あすわ就労支援センターの送迎バスは利用者の方のニーズに応じて、福井駅や各グループホームを周回しています。在宅で、ご家族による送迎が困難な方や、一人での出勤が困難な方にとって、活動先に行くための重要な手段の一つとして活用されています。

またバスに乗って出勤することで、気持ちの切り替えの場となっている利用者の方もいらつっしゃいます。

毎日元気いっぱい バスの中!



「発車」「オーライ」、「行くぞ」「オー」と利用者の方と石塚さんの出発のかけ声で毎朝の送迎がスタートしています。この元気なかけ声がないと、朝の調子が出ないと石塚さんは言っています。毎日、バスの中は、利用者の方と石塚さんの間で交わされる楽しい世間話で笑顔がいっぱいです。みなさん石塚さんと話すことを楽しみにされているようで、安全運転に配慮しながら、バス内を明るい雰囲気にしてきています。



ときには、石塚さんに話を聞いてほしい利用者の方同士で口論になってしまうこともあります。そんなときでも一人ひとりの話を丁寧に聞いてくれます。バスの中で交わされる、何気ない会話の一つひとつが、活動へのやる気や作業場に向かう元気につながっているようです。

またバス乗車時、降車時には、一人ひとりの利用者の方と石塚さんがあいさつを交わしている姿も印象的です。



たくやんの気配りと信頼関係

石塚さんは、利用者の方にとって作業場や生活担当の職員とは違った存在となつています。作業場では出てこない話題や、ふだん見られない表情がバス内では見ることができません。またバスの中という空間は利用者の方にとってふだんと異なる気持ちになるようで、和気あいあいと気軽に話ができる場と感じている方もいらっしゃいます。



バス乗車時には、元気のない利用者の方もいらっしゃいますが、石塚さんは様子や調子を見ながら、楽しい話題を提供する等の声かけで気分をやらわけてくれます。そんな声かけによって、出勤を拒否していた利用者の方も、明るく前向きな表情に変わり、気持ちの切り替えができた方もいらっしゃいました。

また石塚さんの役割は、バスの運転だけではありません。生活介護事業所の生活支援員として、利用者の方と一緒に軽作業を行ったり、安全に過ごしていただくために、他の職員と共に状況の把握を行ったりしています。さらに、利用者の方がグループホームから出てこられるのを待っている間、花壇のお手入れやゴミ拾いをしたり、また雨天時の乗り降りの際に水たまりにはまらないようバスの停車位置に気を配ったりしています。



利用者の方の声



何でも話を聞いてくれて、面白い人です。家でのことなども教えてくれて、色々な話が聞けて楽しいです。



優しい人です。話しやすいのでつい、たくさんおしゃべりしたくなります。

このように利用者の方からの信頼も厚く、石塚さんとの会話を楽しみにされている利用者の方が多いです。また石塚さん自身も「いろんな方と話ができて楽しい。気分が明るくなる」と話されており、毎日の会話を大切にされています。このようにお互いの信頼関係が成り立っているからこそ、利用者の方が安心してバスに乗ることができ、また利用者の方への想いが安全運転にもつながっています。

「お客様を安全に目的地にお届けする」一般的に運転手の業務はそれに尽きます。しかし、当事業所のバスにはさまざまな利用者の方が、いろいろな思い、ときには消化しきれない悩みを抱えながら活動先に向かおうと乗車して来られます。そんなとき、石塚さんの優しいかけ声が背中を押してくれます。「支援」とは何か？それは決して特別なことではありません。日々のかかわりそのものが「支援」であり「共助」だと考えます。そして、その積み重ねが信頼関係の構築となり、一人ひとりの「元気」(生きがい)につながります。

何かと希薄になりがちな人間関係ですが、石塚さんの姿をかかわりの原点として、利用者の方と共に歩みたいと思っています。

あすわ就労支援センター
課長 恵美 浄文

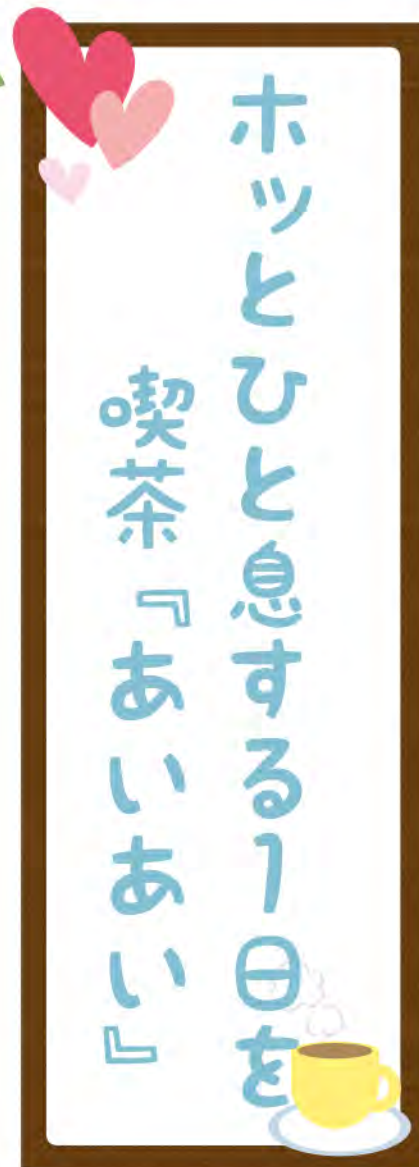


『あいあい』とは？

愛全園では『あいあい』という喫茶を月2回開店しています。ボランティアさんが店員となり、お客様は主に地域の一般の方や愛全園に入居されている利用者の方、面会に来ていらっしゃる方などさまざまです。『あいあい』ではコーヒーやお茶を飲みながらお話をしたり、オセロや将棋等のゲームを楽しむことができたり、ゆとりの場・活動の場を目的としています。

よく『あいあい』の由来を尋ねられますが、「LOVELOVE」「I(私)と愛。」「わきあいあい」とさまざまな意味合いをもっています。

今回はそんな『あいあい』を開店することになったいきさつと、お客様の声をご紹介します。



開店のきっかけ

愛全園では月に一度、利用者の方や地域の方の前で住職さんがお話をされる法話があります。

法話に参加されていた方から「月に一度、こうして法話でみんなに会えるのが楽しみや。もつと会えるといいのにお」という一言がありました。それがきっかけになり、もし自分だったら？と考える、ふれあいの場として『あいあい』を開店することになりました。

最初はお客様が10人に満たないときもありました。常連さんの口コミや「どなたでもぜひ、お茶を飲みに来てください。」を合言葉に地域でのイベントなど機会を見つけては紹介を続けました。

徐々にお客様が増え、現在20人の方が参加されています。

今回、愛全園グループホーム利用者の方の奥様も『あいあい』に参加しており、インタビュアーをさせていただきました。

喫茶あいあいのご案内

営業日：第1、3火曜日

営業時間：14:00～15:30

場所：愛全園コミュニティホール

メニュー



- 飲み物 コーヒー・紅茶・ジュース
- おやつ おいしい洋菓子
- 特別企画…レクレーション
- その他、季節によって、いろいろな企画を行います。

↑『あいあい』のご案内の一例です



『あいあい』を通して
変わったことは
ありますか？

最初は他のデイホーム
に行っていました。職員
さんから「夫婦でいかが
ですか？」と言われて来て
みました。ここだと主人
と一緒に参加できるので
よかったです。

主人は将棋を子どもの
ころにしていたので、ここ
に来て久しぶりに将棋を
再開することになり、イ
キキしています。私も



図書館で将棋の本を借り
るようになったんですけ
ど、なかなか覚えられま
せんね(笑)

面白かった。
うれしかったことが
あれば聞かせてください。

みなさんとゲーム(将
棋やオセロ)や、お話をし
て新しいお友だちもでき
ましたし、私が『あいあい』
を欠席したときに、お友だ
ちに気にかけてもらえた
ことがうれしいですね。



『あいあい』でゲームをす
ることで、主人も部屋で
ゲームをするようになり
ました。私も気持ちの余
裕ができ、私自身もゲーム
をするようになりました。
主人としては、おかしを
食べるのがなによりの
楽しみかもしれませんね。

他のお客様から
こんな声が
聞きました。



●今までは家の留守番ど
ろか、自分の部屋のテレビの
番が日課になっていました。
でも月に2回『あいあい』が
開かれ、送迎してもらえて
とてもありがたいです。
●昔同じ町内だったお友だ
ちと、15年ぶりに再会でき
ました。まさかこんな所で会
えるとは思いませんでした。
●外国人ボランティアの方
とお話するとき「サン
キュー」と私の知っている英
語が通じるとうれしいです。
まるで外国人の孫ができた
みたいです。

今後に向けて

お客様がここに来るこ
とで、楽しみが増えたり、
やりがいを感じたりなど、
参加の理由はさまざまで
す。大事なことは職員がおも
てなしの心をもつことであ
り『あいあい』の場を設け、
ボランティアの協力を得な
がら、みなさんがやりがい
を感じるのが大切なので
はないかと、今回『あいあ
い』を通して感じました。

今後ますます、元気な
高齢者の方の活動の場や
引きこもりの予防など、
気軽に集えて過ごせる場
所が身近な地域の中で求
められてきます。

『あいあい』で得られる
ものを活かし、今後地域
において貢献できる新しい
場を作っていこうと思
います。

愛全園

主任 布川 義之

足羽 福祉会 よもやま新聞

新年
特大号

平成28年
10大ニュース

愛全園に オーケストラが！

愛全園に福井大学から
フィルハーモニー管弦楽団が
来てくれました。

滅多に聞けないオーケスト
ラの重厚な音色に皆さん感
動されていました！（愛全園）



楽しいひととき★

北陸新幹線を利用した豪
華な研修旅行に行ってきた
た！お焼き作り体験や善光
寺、松本城、ブルーベリー狩り
などなど長
野県を満喫
しました。
ブルーベ
リー狩りで



は利用者の方が四つ葉のク
ローバーを発見！

夜の宴会では、カラオケを
サービスしていただき、予想
以上に楽しい宴会になりま
した。（足羽ワークセンター）



新しいお友達が 6月に来ました！



グループホーム美山の小
竹傳（こたけつたえ）様が日
本勲章の一つ、瑞宝双光章を
受賞されました。

瑞宝双光章受賞



小竹様は永年教職に就い
ておられ、約5年間学校長を
勤められ、その功績が認めら
れたの今回の受賞となりま
した。

グループホーム美山でも、
現役時代のようにいろいろな
活動に取り組まれています。

（グループホーム美山）

名前は増田拓人さん。とて
も恥ずかしがり屋さんです
が、モノマネが大得意♪

オリエンタルラジオが歌っ
ている「PERFECT HU
MAN」のダンスを完璧にマス
ターしています。

ぜひ！皆さん増田さんの
ダンスを見に来てください。

（足羽学園）

紅桃の木が やってきた！



福井フェニックススライオン
スクラブの皆様から紅桃の木
を戴き、利用者の方たちと一
緒に植樹式を行いました。紅
桃の花はどれぐらい咲くか
な？今から春が楽しみです。

（フレンズあすわ）



新しいバスが 来ました

こども園のバスがリニューアルしました。

毎日の送迎だけでなく、遠出散歩、交流、社会見学など、さまざまな園外活動に大活躍です。

わくわく、どきどき、こころ



弾む子どもたちの笑顔に乗せた黄色いバスが、今日も文殊山の麓を駆け抜けます。さあ、出発進行！（足羽東こども園）

足羽更生園の花壇

①「ふれあい花壇、受賞」

平成28年6月3日、宿布町ふれあい花壇の長年（20年超）の取り組みに対して、福井市より不死鳥のねがい（福井市市民憲章）優良実践者表彰（団体の部）で優良実践者賞を頂きました。

②「宿布の誇り」

宿布町ふれあい花壇の表彰を宿布自治会長に報告し、日ごろのご協力のお礼を



伝えたところ、自治会長様より「ふれあい花壇は宿布の誇りです。」とお言葉を頂きました。（足羽更生園）

タイタンズ準優勝



地域活動支援センターあすわの野球チーム「TITANS」（タイタンズ）が、夏季ウイングカップ大会にて準優勝の好成績を収めました！！

「みんな立て！始まるぞ！」
監督の一声でみんなの士気



も高まります！

Let's Go Win!! Go! Go!

TITANS!!!

（地域活動支援センターあすわ）

吉田晃夫相談員が パネラーに



焼き立てパン作り

グループホームの外出で、パン作りをしました。初めて作ったので大変でしたが、焼き上がったパンを見てうれしそうでした。

その後、おいしくいただきました。

（グループホームなごみ）

昨年11月20日に「福井県ポランティア作文コンクール20周年事業」のトークセッションにパネリストとして参加させていただきました。

平成16年度に福井豪雨のボランティア活動をしたことを記した作文が同コンクールで入賞したことがきっかけでした。今回は貴重な学びの機会をいただいたので、できるだけ多くのことを吸収していきたいと思えます！

（足羽利生苑）

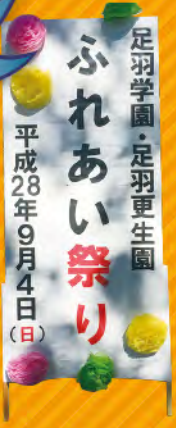


昭和42年、足羽福祉会は
足羽学園からスタートしました

足羽学園開設 50周年前年祭

平成28年9月4日

ふれあい祭りが開かれました



前年祭特別企画



懐かしい園の映像上映コーナー



建設予定の新園舎
夢の寄せ書きコーナー



平成28年10月15日 福井市東体育館

足羽福祉会 合同レクリエーション

今年のテーマは 「いろいろな色」

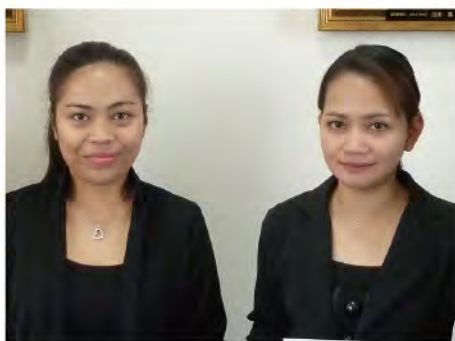
七色に見たてた各施設の利用者の方、ご家族、ボランティア、職員総勢400名が一堂に会し、ゲームや踊りで交流を深めました。毎年恒例の行事で今年25回目を迎えました。



桃太郎ゲームで鬼退治
鬼をやっつけてお菓子をGET!



大人に負けるな園児たち!



(左)ティースさん (右)ジェーンさん

事前の日本語研修などを
経て採用されたお二人は、持
ち前の明るさと若さで日々
のお仕事を頑張っています。

2名が採用となりました。
成28年11月末より愛全園に
候補者の受け入れを行い、平
本・フィリピン経済連携協定
(EPA)による介護福祉士
今年度、足羽福祉会は日

EPAによる
介護職員
受け入れへ



足羽福祉会 創立50周年記念大会

第5回

足羽川ふれあいマラソン

が開催されます

走って社会貢献

参加料の一部は「しあわせ福井スポーツ協会」へ寄付され、障がい者スポーツの振興、スポーツを通じた障がい者の社会参加促進、障がい者福祉の向上に役立てられます。

期日

平成29年3月19日（日）9:30スタート

会場

福井市木田小学校

種目

ハーフ（高校生以上）

10km（高校生以上）

5km（高校生以上）

3km（小学生以上）

2km親子（小学1・2年、小学3・4年）

1.2km親子（未就学4～6歳児）

申込

平成28年12月12日(月)～平成29年2月20日(月)



ボランティアも募集中

レース後は
ぜんざい
サービス



参加賞は
オリジナルTシャツと
シューズバッグ

http://www.asuwafukushikai.jp/fureai_marathon/

足羽川ふれあいマラソン

検索



足羽福祉会の
ホームページが
新しくなります。

URLはこちら

<http://www.asuwafukushikai.jp/>

足羽福祉会 で
検索してください



足羽福祉会の機関誌「愛道」が、福井県社会福祉協議会主催の「ふくし広報コンテスト2016」で最優秀賞を受賞しました。広報委員ならびに編集にご協力いただいた各方面の皆様方にはこの場をお借りして感謝申し上げます。今後も「福祉」を広くわかりやすく伝える努力を惜しまず、取り組んでまいります。

広報コンテスト
最優秀賞受賞

愛のささえ

ご協力ありがとうございました

平成28年7月1日から平成28年11月30日までのの方々を掲載させていただきました。

〔足羽東エリア〕

仁愛女子短期大学 福井県医療福祉専門学校 羽水高等学校

（寄付・寄贈） 仁愛女子短期大学 福井県医療福祉専門学校 上文殊駐在所 東足羽民生児童委員協議会主任児童委員 上文殊公民館 福井南消防署 文殊苑 上文殊小学校 上文殊交通安全協会会長 島崎恒盛 藤尾逸人

（寄付・寄贈） マエタセイカ株式会社 梅田健二

（寄付・寄贈） 松原智子 野路純子 高橋朋秀 若者サポートステーション 関カワグチ 越前美山そは元気の会 福井市健康づくり婦人会 きもの着付けサークル 福井農林高等学校 松川徹 時田篤

（寄付・寄贈） 福井県立福北特別支援学校 福井大学 教育地域科学部附属特別支援学校 福井県立福井南特別支援学校 福井県立南越特別支援学校 福井県立奥越特別支援学校 神戸大学 同志社大学 NHK 学園 仁愛女子短期大学

（寄付・寄贈） 日本ソロプチミスト協会福井 福井銀行 東郷支店 ㈱イチネン 平田武子 古市正樹 松原智子 上野富清

（寄付・寄贈） 滝波礼子 近藤善勝 中谷まゆみ 北村政義 上野孝次 河村謙 松平由紀 恵 佐々木知重紀 内山由紀 前川友哉 山本健治 前田直史 吉田正明 磯部真美 松村竜一 工藤かおり 小林順子 伊戸桂子 増田花子 大杉キクエ 竹原喜久美 巢守久仁子 栗原順子 石田くみ子 大島典子 鶴岡真由美 林勇太 福田利子 酒井佳代 岩田雅弘 竹田真澄 梅田京優華 板谷玲香 宮

下果歩 八杉緑 青木佳菜 荒井莉奈 高嶋一奈 谷口香葉子 前川奈津子 キリスト教婦人部

（寄付・実習・見学） 仁愛大学 仁愛女子短期大学 福井県立大学 伊藤貴彦 辻昌輝 吉川優花 吉村真未 河村拓郎 岩佐俊

（寄付・寄贈） 社南地区社会福祉協議会

（寄付・実習・見学） 和田公民館 大久保彩 大久保佑樹 山下敏子 諏訪八重子 酒井映代子 宮木玲子 岩本良子 吉野静子 和田他子 五嶋南行 庭英司 小林智明 黒川親雄 沖田美智枝 今村元紀

〔あすわ地域生活支援センター〕

宮本佳子 加藤和恵 大田香織

（寄付・寄贈） 福井県立福北特別支援学校 福井県立南越特別支援学校 福井県立奥越特別支援学校 福井県立福井南特別支援学校 高志高等学校家庭クラブ 仁愛女子短期大学 小林直美 源野京子 小林桃子 山内愛音

（寄付・実習・見学） 仁愛女子短期大学 仁愛大学

（寄付・実習・見学） 啓蒙保健衛生推進員 啓蒙ボランティア 啓蒙民謡クラブ 福井市赤十字奉仕団 花亀会 中嶋安子 鈴木陽子 山下敏子 織田和美 山下敬子 諏訪八重子 中野節子 杉本信子 東新保ボランティア 丸山ボランティア 福井ばら会 福井絵本クラブ よつばの会 西尾聖蘭 アンサンブルAOB 木内敏郎 福井大学フールハーモニー管弦楽団 吉野隆春 吉野静子 黒川敦子 佐々木敦子 折音 啓蒙リズム体操 ちゅうまごじろう ラブリ 末日聖徒イエス・キリス

ト教会 竹下久美子 中野千代枝 福井県医療福祉専門学校 福井県立看護専門学校 もみじ児童館 啓蒙小学校 啓蒙保育園 さくら会 写友会 四つ葉会 愛全園文化祭出展協力者一同 福井ヤクルト販売株式会社

（寄付・実習・見学） 福井県医療福祉専門学校 福井県立看護専門学校 福井県立看護専門学校 南越香 矢戸ひかる 福井県立看護専門学校 福井南高等学校 福井県自治研修所 モアヤング 福井工業大学

（寄付・寄贈） 日本たばこ産業福北陸支社 NTT労働組合福井県グループ連絡会 松原誠 宮下真雄 上田繁政

（寄付・実習・見学） 福井市赤十字奉仕団 丸山グループ まーまれと美容室 宇都宮友美 美容室倶楽部浜田 戸嶋聡美 乗竹洋子 土田ふさえ 富田真美子 後藤奈美子 佐藤とさ子 賀川美智枝 高山敏子 米沢定子 山田麻由 高瀬里穂 山崎幸子 本多幸雄 梯洋枝 中嶋正子 福岡塗装店 福津民謡クラブ 江端茂子 松宮あさ子 児玉美子 林茂樹 宮永十志子 中村圭佑 中村祥大 榎本佳一郎 オカリナポルテ 野坂幸雄 高嶋政廣 石田梨歩 村田未有 増永真理恵 藤原真衣 上田楓真 桑原有 仁愛大学 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校 仁愛大学 福井県立大学 福井県立看護専門学校 福井県警察学校 ㈱グレート ガールスカウト あさひこども園 福井県社会福祉協議会 福井大学医学部 福井県 福井市西部民生児童委員

（寄付・実習・見学） 福井県立看護専門学校 福井県立看護専門学校 福井県立看護専門学校

（寄付・実習・見学） 福井県立看護専門学校 福井県立看護専門学校 福井県立看護専門学校

〔足羽利生苑〕

（寄付・寄贈） 福井市赤十字奉仕団 丸山グループ まーまれと美容室 宇都宮友美 美容室倶楽部浜田 戸嶋聡美 乗竹洋子 土田ふさえ 富田真美子 後藤奈美子 佐藤とさ子 賀川美智枝 高山敏子 米沢定子 山田麻由 高瀬里穂 山崎幸子 本多幸雄 梯洋枝 中嶋正子 福岡塗装店 福津民謡クラブ 江端茂子 松宮あさ子 児玉美子 林茂樹 宮永十志子 中村圭佑 中村祥大 榎本佳一郎 オカリナポルテ 野坂幸雄 高嶋政廣 石田梨歩 村田未有 増永真理恵 藤原真衣 上田楓真 桑原有 仁愛大学 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校 仁愛大学 福井県立大学 福井県立看護専門学校 福井県警察学校 ㈱グレート ガールスカウト あさひこども園 福井県社会福祉協議会 福井大学医学部 福井県 福井市西部民生児童委員

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

（寄付・実習・見学） 大原スポーツ医療福祉専門学校 福井県医療福祉専門学校 福井市医師会 看護専門学校

編集後記

皆様の協力の下、何とか無事完成することができました。本当にありがとうございました。松原(こ) 初めての記事を担当しました。1人でも多くの方に読んでいただけたらと思っています。寒さに負けず、今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

今年も1年元気に過ごしましょう！ 要田(就) 今年は、たくさんのことにチャレンジしたいです。中村(空) 肌寒い季節になりました。温かい物を食べて風邪をひかないよう気を付けてください。長家(重) 健康に気をつけながら、今年は昨年以上に素敵な年になりました。

Table with 3 columns: Organization Name, Address, and Phone Number. Includes entries for 社会福祉法人 足羽福祉会, 啓明児童クラブ, 足羽東こども園, あすわ就労支援センター, 足羽学園, 足羽更生園, あすわ相談支援センター, あすわ地域生活支援センター, あすわ児童発達支援センター, 愛全園, 福井大東包括支援センター, 足羽利生苑, グループホーム美山.

発行所 社会福祉法人 足羽福祉会 発行責任者 高村昌裕